



RI 会長テーマ

会報

クラブ会長テーマ

ロータリーの第2世紀の第1章を書こう!



2006-3-16/17 第736回例会 NO.16-33 2006-3-22発行

2005~2006年度 地区大会

新高輪プリンスホテル・国際館バミール

第1日目:3月16日(木)

<本会議> 嵐

〇点鐘 13:00

ガバナー 市川伊三夫

◎国歌奏楽・4カ国

指揮 佐藤 菊夫

ロータリーソング『我らの生業』

◎RI会長代理・来賓紹介

ガバナー 市川伊三夫

◎歓迎のことは

大会実行委員長 市原 照雄

◎第2750地区現状報告

ガバナー 市川伊三夫

日本語、英語、ミクロネシア語による挨拶。「識字率向上」と「水環境保全」に取り組む。特に「多摩川」を抱く地域として「水環境保全」アクション展開の重要性を提起。

◎国際ロータリーの現状報告

RI会長代理 藤川 享胤

昨今のロータリーの衰退は、元RI会長H・トーマスの30年前の警告通り、拡大路線のために原則を曲げ質の低下を招いたことに尽きる。社会奉仕も国際奉仕も、それが目的ではない。全ては職業奉仕、I serve に集約される。「職業奉仕こそ看板」に疑問の余地は無い。増強は急がず慌てず、質の強化に繋がるものとして欲しい。

◎表彰: 当クラブはガバナー特別賞

多摩グリーンロタキッド・クラブ「心の詩・少年少女合唱団」設立に対し、ガバナー特別賞が授与された。

◎シンポジウム 「RI第2750地区の水問題を探る」

コーディネーター川尻政輝、パネラー:小倉紀雄

農工大名誉教授・都自然環境部 飯田輝男

ポンペイRC Freddie Ricafrente

*多摩川上流中流地域の「水の増量方策・川の美しい環境保全策」、雨水を地下に返す「雨水浸透樹の整備普及」「下水処理水の真水化→川」等の提言あり。

*地区環境保全委員会として、多摩川の水問題検討プロジェクトを立ち上げることが提言された。

◎車椅子のダンス

松高トモ子・河野祐介

ハンディキャップに関係なく、エレガントで美しく美しい生き方、元気を振りまいてくれるショーでした。

◎記念講演

細川 佳代子

「スペシャルオリンピックスの魅力」

日本では殆ど知られていないが、知的障害者スポーツの祭典。成績を競うものでも能力を顕彰するものでもない。目的のため努力する姿勢を評価するもので、全参加者が何らかの顕彰を受けるよう運営される。彼らに生きる勇気を与える活動に理解と支援をお願いしたい。

◎点鐘 17:40

ガバナー 市川伊三夫

第2日目:3月17日(金)

<本会議> 嵐

◎点鐘 12:30

ガバナー 市川伊三夫

◎ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 藤川 鉄馬

◎来賓・参加クラブ紹介

ガバナー 市川伊三夫

◎物故会員に黙祷

◎特別表彰

黒澤張三PG 52年間100%出席

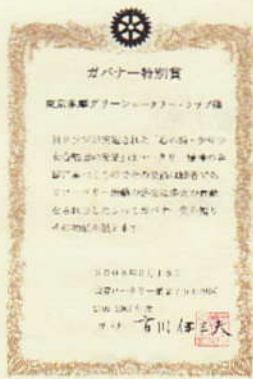
◎ガバナー挨拶

ガバナー 市川伊三夫

まだ3ヶ月半もある、チャレンジして欲しい!

*会員増強1クラブ純増1名を!

*「行動に責任を持とう」・・・ステンハマーRI会長「言」より「行」。勝海舟が威臨丸の勢子の選定にあたり、高熱をおして江戸城に参内、勢子達の嘆願を聞届けるよう具申の折、老中の「何ゆえ些事に関わるか」



表彰を受ける北村会長

事務局 〒206-0033 多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号 Tel 042-372-6463 Fax 042-372-6491 E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

会長:北村幸彦 幹事:篠崎一雄 会報委員長:宮本誠 副委員長:高木淳光 例会場 京王プラザホテル多摩

委員:大松誠二・萩生田政由・伊澤ケイ子・澄川昇・由井真司

例会日 毎週水曜日12:30 月最終例会18:30

に答えて曰く、「連中に言葉は効かない、上の者の行動のみ。この難航海に、最下級の彼の者らの動きぶりには必要不可欠の重要事なり」と。

◎RI 会長アドレス R I 会長代理 藤川 享胤

* Service Above Self! タゴール:「貴方を愛することが貴方の負担になりませぬ様に! 私はただ貴方を愛させていただけなのですから」

* ピチャイ:「ロータリーの強みは世界 120 万人の結集力、弱みは 120 万人がその心を忘れかけていること」その心とは「親睦と奉仕」、ロータリーの親睦は社交ではない。同志のつき合い、Fellowship である。奉仕とは職業奉仕である。クラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕は、職業奉仕によって人格を磨くための方策である。

* ロータリアンズ ビー アンピシャス! ロータリーの「志」を高くせよ! 「志」とは職業奉仕の心である。ガンジー 6 戒に 2 つ 「倫理無き商売」、「労働なき富」

* ではどうすれば良いのか。P ハリスも答えてはくれない。ただ彼のカムリーバンクを前にして、その生き様を思う時、自ずと教えられる心地がする。

◎姉妹地区ガバナー挨拶 第 3650 地区総裁 申 大鎮

日本語で挨拶。昨年の我地区大会ご参加多数に感謝し 40 人で参りました。市川ガバナーは「両国の交流が素晴らしい伝統として続くことを願う」と挨拶されました。私は「両国の交流の先頭役をロータリアンが果たそう」とお応えしたい。両地区は各種プログラムを通じ、理解と親善を深めて来ました。昨年ソウルのインターアクト大会で両国代表はそれぞれ相手国語で挨拶、心を開き合い最終日の惜別の涙には感銘を受けました。あの光景は健全で明るい両国の未来を確信させるもの、一層協力し、この世を美しいものとして行く同伴者となりましょう。

◎記念講演「疑り深くありたいものだ」

講師 石坂 浩二

物事には光と影がある。情報、特にマスコミ情報を一面的に見ては事を誤るであろう。深く疑って自分の判断を持つこと、それが社会、文化、人を観る目を深くする。・・・様々のエピソードを交えての話であった。

◎「シャンソンをあなたに」 安奈 淳

初代オスカル 59 歳の、元気すぎるシャンソン!

◎記念講演

「HIV 感染孤児と暮らして気づかされた多くの事」

講師 名取 美和

HIV 感染孤児として差別され虐げられた暗い過去を持つ子供達 30 人。それが、こんなにも生き生きと、嬉しそうに生きられるようになる (ビデオ映像)。それには

- ・タプリの愛情、無条件の愛情と
- ・やりたい事、好きな事をやりたいだけやらせること、と気付いた。管理的禁止を何もしない。子供ならやリた

い事は何でもやらせる。殴合いの喧嘩でも余程でない限りやらせておく。世間では「人に面倒かけないように」と言う。本当にそうだろうか? お互い面倒かけ合って生きてゆく社会こそ優しく幸せな社会ではないか。自分の幸せを分け合うこと、それが「施し」というもの。ほんの少し分けて欲しい、それで貴方も少し幸せになれるはず。・・・大変笑顔のいい方でした。

◎特別講演「2010 年代の日本」 講師 堺屋 太一

2010 年代の日本など誰も分かりはしない。ただ明白なことは

- ・団塊の世代が定年を迎えること
- ・大国主導の国際環境の変化
- ・官僚主導の世の中ではなくなること

日本社会の大きな変遷、その都度官僚は事態を読み違えてきた。今回も読み違えるであろう。団塊世代の定年 = 大量の労働力減少、として悲観論を展開するが実際には従来の年功序列賃金体制からの離脱に過ぎない。フリー労働力の増加により、デフレとは異なる低コスト社会) 来る。束縛を離れ、好きな事、やりたい事、しかし高品質の事しかやらない労働力、それは金銭目的でないから、必ずしも高コストを意味しない。ただし自分の「好きな事」の見極めが不可欠。好きなように生き、好きな事、自分の為に金を使う。高齢者から若年層に金の流れる悪循環を断ち、嫌齢社会を好齢社会とし、人生実りの秋を謳歌しよう! ビジネスもそれをマーケット化出来るはず。唯ベテランは多種多様高品質、大量生産方式では対応できない。コンピューター時代ならこそ可能な展望である。

◎決議委員会報告、大会決議案協議・採択ほか

◎RI 会長代理所感 R I 会長代理 藤川 享胤

◎ガバナー謝辞 ガバナー 市川伊三夫

◎点鐘 18:35 ガバナー 市川伊三夫

<懇親会> 北辰

軽快な JAZZ 演奏を BG として、さすが銀座 RC ホスト) 中々の御馳走パーティーでした。

[委員会報告]

◎出席報告 出席委員会

会員総数 40 名
出席義務者数 39 名 (出席免除者 1 名)
出席者数 15 名
欠席者数 24 名 (事前 MUO 名)
出席率 38.46%
補填 MU: なし

3/1 最終訂正出席率 76.92%

(今週の担当 宮本 誠)